

# 真田紐の結び方

## ◎左つづら掛け（裏千家結び）

長方形に近い形の箱に使う結び方です。

[ご用意いただくもの物]

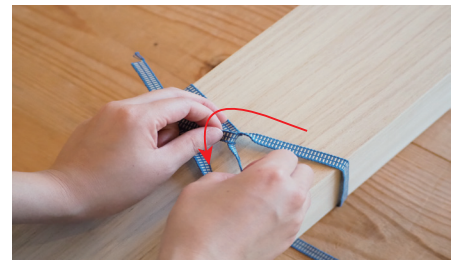
- ・桐箱 箱の中にお品物を入れていただいた状態でご準備ください。
- ・真田紐
- ・ハサミ



①木箱の木目が広い方を右に置き、紐の輪が左側にできる様に置きます。



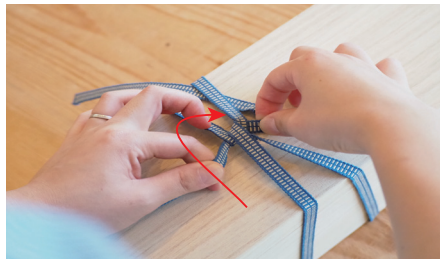
②左の輪を木箱の中心に置き、右側に出ている奥の紐を持ちます。



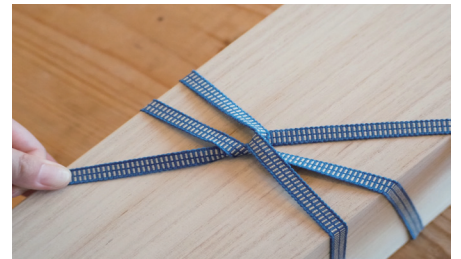
③左側の輪に上から通します。



④③の紐を抑えながら、右手前の紐を持ちます。



⑤④で持った紐を左の輪に上から通します。



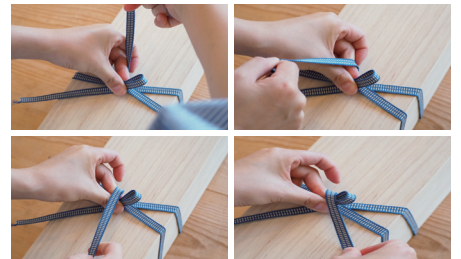
⑥結び目が箱の中心に来るように調整します。



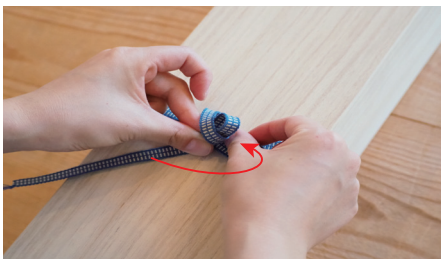
⑦左下に置いた紐を山折りにし輪を作ります。



⑧中心をしっかりと抑え、右上の紐を持ちます。



⑨⑧で抑えている中心は動かさず、右上にある紐を上からかぶせます。



⑩中心の重なった部分に輪ができているので、一番上に重なっている紐を二つ折りにして入れます。



⑪二つ折りにした紐を引き出し、結び目を締めます。



⑫全体の形を整え、紐が長い場合はハサミで切り揃えて完成です。

